

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)

2022年度(令和4年度)第3回定時理事会 議事録

[1]開催:2022 年 12 月 9 日(金)13:00~17:45

・会議形式:実会議とインターネット・ウェブ会議(ZOOM)併用

・実施会場:Japan Sport Olympic Square 3F 会議室 8(東京都新宿区)

[2]出席(理事 31 名、監事 2 名):

岩城光英、仲井公哉、飯島健二郎、大塚眞一郎、中山正夫、山倉紀子、鈴木貴里代、山根英紀、上田藍(15 時 47 分入室)、森幸(15 時 50 分退室)、高谷正哲、中山俊行、豊岡正康、大関辰郎、園川峰紀、川添勝、宮本悦子、大野徹雄、須山浩光、村上幸生、村瀬訓生(オンライン出席のち 14 時 10 分~会場出席)

(以上、理事 21 名会議室出席)

岸田吉史(13 時 39 分入室)、和田知子、関根明子、富川理充、佐藤圭一、石井なおみ、齋藤れい(15 時 10 分退室)、菊池日出子、谷真海(15 時 33 分退室)、島津寿江
(以上、理事 10 名オンライン出席)

萩原政吉、秋山智昭(以上、監事 2 名会議室出席)

オブザーバー(3 名)

近藤邦宏トライアスロン HPTAD、土屋佳司パラトライアスロン HPTM、小池賢イベントチームディレクター (以上 3 名オンライン出席)

事務局出席(9 名)

坂田洋治、児玉健太、長江千明、則俊直哉、島村直子、小池賢、大岩葵、内藤裕也、萩原舞

[3]議事の経過

JTU 定款第 6 章(理事会)第 34 条(決議)により、進行役の児玉事務局次長が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。

3 条(議長)により、岩城会長が議長として開催宣言を行った後、弔事対応を行い、続けてオリンピックテストイベントに関わる報道について情報

共有がなされた後、定款第 23 条(理事の職務及び権限)による会長及び業務執行理事の職務執行状況として、業務執行理事を代

表して会長レポートを読み上げた。

その後、定款第 35 条(議事録)により、岩城会長、萩原監事を議事録署名人、大塚専務理事、園川理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者

に事務方を指名した。

第 0 号議案) 前回議事録

2022 年度(令和 4 年度)第 2 回定時理事会の議事録について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) 2022 年度(令和 4 年度)第 2 回定時理事会(2022 年 9 月 6 日開催)議事録

第 1 号議案) 諸規程の変更提案

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 通報相談処理規程(変更案)

第 6 条(相談窓口対応事項)、第 7 条(告知・対応・通知)の追記。

・承認事項 2) 倫理コンプライアンス規程(変更案)

第 8 条倫理委員会の設置、第 9 条基本対応事項等、第 10 条(処分内容と罰則)の記述変更。

・承認事項 3) 競技規則(変更案)

選手の罰則等に関わる記述変更。

*World Triathlon 競技規則の一部改訂(2022/12/1)に伴い、JTU 競技規則へ反映

・承認事項 4) 役員選任規程(変更案)

第 2 条の変更(理事の定数が 30 名から 35 名への変更を受けた文言変更。)

第 2 号議案) 2023 年度各種選手権/主要大会(開催予定)

標題について、坂田マーケティング・事業局長より説明があり、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 2023 年度国内選手権開催計画

1) 日本 U23 トライアスロン選手権(2023/東京・台場)

日程: 10 月開催予定の日本トライアスロン選手権と併催

2) 日本 U23 スプリント選手権/U19 選手権(2023/長良川)

日程: 2023 年 7 月 23 日(日)

3) 日本スプリント選手権(2023/七ヶ浜)

日程: 2023 年 7 月 23 日(日)

4)第1回日本アクアスロン選手権(2023/東京・海の森)

日程:未定

5)日本デュアスロン選手権(2023/寒河江)

日程:2023年11月4日(日)

6)日本ウルトラロングディスタンス・ナショナルチャンピオンシップ(2023/五島長崎)*Aタイプで開催

日程:2023年6月18日(日)

・主要意見 1)ジュニア・高校生普及の側面から、U19 選手権は高校生の稼働時期にあわせ、将来的には秋口の開催を目指してほしい。

・主要意見 2)キッズ・ジュニアの順位付け

・主要意見 3)お台場におけるパラトライアスロン日本選手権の開催希望

・主要質問事項 1)コンチネンタルパラカップ開催促進の狙いとは。

回答)競技者の減少からロサンゼルスパラリンピックでのパラトライアスロン競技の開催が不安視されていることから、ワールドトライアスロンとして普及を目的として開催を促進するものである。

・承認事項 2)2023 日本選手権出場基準変更案

・説明骨子 2)選手の参加増を目的とした出場基準の改定、日本選手権を軸とした「日本選手権クオリファイシリーズ(出場権利獲得シリーズ*仮称)」の新設、および JTU ブロック代表の基本出場条件におけるスイム・ラン認定級を合計タイムで 15 級以内に変更。

・主要意見)

記録会クリアの基準を下げることで完走できない参加者が増えることへの懸念。

・主要質問事項)なぜ日本選手権出場選手が減っているのか。

回答)9~10 月にワールドトライアスロンの主要大会が集中しており、トップ選手の海外遠征と重なるため。

・承認事項 3)2023 エイジグループナショナルチャンピオンシップシリーズ

・承認事項 4)高校生/大学生 シリーズ関連

・主要意見)・大学生シリーズの対象大会と比較し、高校生シリーズでは出場機会を得られる選手に偏りが出るとのではないかと懸念、高校生が参加可能なスプリントディスタンス大会の開催を希望する意見あり。

・承認事項 5)2023 エイジグループ関連基準

- 1)2023 日本エイジグループ SD・SP 選手権宮崎大会出場基準
- 2)2023 ワールドトライアスロン世界・アジアエイジグループ【イビザ】日本代表エントリー基準
- 3)2023 ワールドトライアスロン世界・アジアエイジグループ【ハンブルク】選手権日本代表選手エントリー基準
- 4)2023 ワールドトライアスロン世界・アジアエイジグループ・【ポンテベドラ】選手権日本代表選手エントリー基準
- 5)2023 ワールドトライアスロン世界・アジアエイジグループ・【スケーカンペン】選手権日本代表エントリー基準
- 6)2023 ワールドトライアスロン世界・アジアエイジグループ・【デュアスロン】選手権日本代表エントリー基準

第 3 号議案)トライアスロンハイパフォーマンスチーム 関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後に/質疑などないことが確認された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1)基準・プログラム関連

- 1)第 19 回アジア競技大会(2022/杭州)選考基準
- 2)ナショナルチームプログラム
- 3)ナショナルチームプログラム強化費
- 4)ワールドトライアスロン・アジアトライアスロン公式大会 JTU 出場推薦基準
- 5)ワールド/アジアトライアスロン・デュアスロン選手権(選考基準)
- 6)NTT ランキング(2023)・NTT ランキングジュニア(2023)
- 7)JTU 強化拠点認定基準(変更案)
- 8)FTEM フレームワーク

・承認事項2)表彰・推薦関連

- 1) 日本スポーツ賞の推薦
推薦選手:高橋侑子 選手
- 2) ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ助成の推薦
推薦選手(1):森拳真(トヨタ自動車/愛知)

推薦選手(2):佐藤姫夏(敬愛大学・稲毛インター／千葉)

3) 江副記念リクルート財団奨学金の推薦

推薦選手:佐藤姫夏(稲毛インター・敬愛大学)

4) ヨネックススポーツ振興財団の推薦

推薦選手:大島 拓人(城西高校/東京)

5)ミズノスポーツ振興財団の申請

6)2023 年度 JSC アスリート助成推薦方針

7)2023 年度 JOC ネクストシンボルアスリート推薦方針

8)2023 年度 JOC ジュニアオリンピックカップ推薦方針

第 4 号議案)パラトライアスロンハイパフォーマンスチーム関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1)基準・プログラム関連

1)2023 年 JTU パラトライアスロン強化指定選手制度

2)2023 年 JTU パラトライアスロン強化指定選手

[1]女子パラトライアスロン強化指定選手(1名)

1)C 指定選手(1名)

秦由加子(千葉県／キャノンマーケティングジャパン・マーズフラッグ・ブリヂストン)PTS2

[2]男子パラトライアスロン強化指定選手(7名)

1)S 指定選手(2名)

宇田秀生(滋賀県／NTT 東日本・NTT 西日本)PTS4

米岡聡(東京都／三井住友海上)PTVI1

2)A 指定選手(1名)

木村潤平(東京都／Challenge Active Foundation・サンフラワー・A株式会社)PTWC1

3)B 指定選手(1名)

山田陽介(奈良県／ジール)PTVI3

4)C 指定選手(3名)

佐藤圭一(愛知県／セールスフォース・ドットコム)PTS5

梶鉄輝(兵庫県／JPF)PTS5

荒力(大分県／ホンダアスリート)PTS4

3)2023 年 JTU パラトライアスロン育成強化指定選手制度

4)2023 年 JTU パラトライアスロン育成強化指定選手

5)2023 ワールドトライアスロン・アジアトライアスロン公式大会 JTU 出場推薦基

準

6)2023 アジアパラトライアスロン選手権(2023)選手選考基準

7)パラトライアスロン競技の普及、選手の育成、強化活動のための支援スタッフ

の公募

・承認事項2)各種事業の推薦関連

1)World Triathlon クラシファイア資格取得希望者(公募案内)

2)東京パラアスリート強化事業の推薦

3)日本パラスポーツ賞の推薦

第 5 号議案)国体・技術・審判関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、鈴木常務理事が本件対象者のため利益相反となり一時退席を要請した後、質疑などないことが確認

された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1)2023 鹿児島国体(トップアスリートの予選会免除と参加資格特例措置の適用)

・説明骨子)2023 特別国体 鹿児島県では予選会免除対象大会の申請は行わない。

トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置として 2023 年第 2 期 JTU トライアスロン・ハイパフォーマンスチーム ナショナルチーム A・B 選手を対象と定める。

・承認事項 2)国民スポーツ大会 施設基準の変更案

補足)成年用競技距離としてスタンダードディスタンスを適用する等の文言変更

・承認事項 3)2023 World Triathlon Cup and World Triathlon Champion Ship TD/ATD の推薦

・ワールドトライアスロンシリーズ(2023/横浜)ATD

小金澤光司(技術委員会副委員長/神奈川)

・ワールドトライアスロンカップ(2023/ヨンド)TD

鈴木貴里代(常務理事/愛知)

・ワールドトライアスロンカップ(2023/宮崎)ATD

井口大介(技術委員会委員/東京)

第 6 号議案)組織関連・役員委員の推薦等・財務関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、山倉紀子常務理事および中山俊行理事が、本件対象者のため利益相反となり一時退席を要請した

後、質疑などないことが確認された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1)JTU 加盟団体社員/理事の推薦手続きのスケジュール案
- ・説明骨子)JTU 加盟団体社員および JTU ブロック理事の推薦手続きを 2023 年 3 月末までとする。

- ・承認事項 2)公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)理事に山倉紀子常務理事を推薦する。公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)評議委員に、中山俊行理事を推薦する。

- ・承認事項 3)外部諸団体によるコーチ等設置事業の推薦基準

- ・承認事項 4)財務関連
- ・説明骨子)スポーツ振興くじ助成金の助成を受け運営を行うワールドトライアスロンシリーズ横浜大会について、(すでに 6 月の理事会・総会では、2022 年度予算として承認内容)助成金精算払いまでの運営資金として、横浜銀行より短期借入を JTU の名義で行う。金額は1億円(上限:利息調整中)。調達予定時期は 2022 年 12 月。返済期限は 2023 年 7 月とする。

[4]報告事項

- 1)2022 年度上期/事業報告
- 2)2022 年度上期/予算執行状況報告
- 3)危機管理案件

- ・大阪府協会通報相談(審判資格関連)

OPTA の処分内容と通報者との近況報告があり、引き続き本件を注視することが報告された。

- ・群馬県協会年齢詐称

コンプライアンス委員会主導で本事例をあげて各加盟団体の責務、対応策等を周知予定。

4)World Triathlon のトランスジェンダー制度関連事項

トランスジェンダーに関するワールドトライアスロンのレゾリューション(方針)を 11 月 22 日(アブダビあわせ)に提案したところ、メキシコからいくつか

の意見があり。ワールドトライアスロンとメキシコの間で熱心な討議がなされ、ワールドトライ

アスロンとしては、いったんレゾリューションを取り下げ、もう少し幅広く NF の意見も取り入れながら検討を行うことを判断。

5)ロシア・ベラルーシ選手の大会参加に関する考え方

IOC の意向と揃え、選手は国際大会への出場を承認する意向。

6)国際大会開催・国際会議の招へい(2023AF 総会、2024IF 総会)

2023 年 AF 総会 蒲郡市との共催条件は近日中に協議予定

2024 年 IF 総会 ワールドトライアスロンより打診あり。

JTU としては補助金・助成金予算が取れば、11 月～12 月開催予定。

7)中長期計画の更新とスケジュール

会員数

8)加盟団体法人化/インボイス制度の支援プログラム

香川県 NPO 法人目指す

2023 年 10 月 1 日から開始のインボイス制度について、加盟団体や大会主催団体に関わる部分の要件を整理し、ディスカッションの場を設ける予定。開催時期は 2023 年 1 月以降とする。

9)専門委員会報告

・セミナー・フォーラム委員会より実施状況・予定

・高校生普及委員会より国体リハーサル大会と高校生選手権併催の協力依頼、高校生チャンピオンシップシリーズ創設の提案。

・コンプライアンス委員会より 12/14 の全国コンプライアンス会議の案内

・パラ HPT より、選手発掘の取組状況

10)地域ブロック報告

・鹿児島国体における離島への移動に関する手段等の懸念

・各加盟団体内の監督有資格者のブロック内移動の可否を検討

・2023 年 JTU 施策の一つ「ワンデー登録」の説明

審議進行に関わる確認) 議長に代わり事務方が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや、発言できなかったことなどがないかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われた

ことを確認し報告した。

[5]次回理事会:2023 年 3 月 22 日(火)2022 年度第 4 回定時理事会開催予定

[6]閉会宣言

仲井筆頭副会長のあいさつの後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ。17 時 45 分に閉会した。

議事録署名と確認:

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2022 年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2022 年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2022 年 月 日

(園川峰紀・理事) (印) 2022 年 月 日

=以上=